

## 職員提案事業(平成15年度採択)の成果について

職員提案事業は、県政の抱える課題の解決に資する事業を職員自らが発案・実施することで、県民サービスの向上と職員の意欲及び企画力の向上を図ることを目的に、平成15年度から実施されています。今回、平成15年度に採択された9事業が所期の事業期間を終えましたので、取組みの成果とともに、今後の取組みをお知らせします。

No.	事業名、実施所属 ほか	事業概要	取組みの成果	今後の取組み
1	<b>緑化技術等研究成果等 展開事業</b> 実施所属 政策課 実施期間 3年間 予算額 20,790千円 決算額 18,579千円	産学公研究の成果である未利用木質資源を活用した木質ボードや屋上緑化の植生マットについて、公共施設における実証試験や販路開拓などを大学や企業と協働で行い、研究成果の実用化をめざす。	公共施設での試験施工や販路開拓に向けた市場ニーズ調査、他技術製品との比較などを行うことで、産学公研究で培われた技術の実用化に向けた端緒を開きました。 一方、耐久性などの実証試験の実績が少ないことから公共事業などで活用されるまでには至っていないため、実績の積み上げや、具体的な政策誘導策の検討などが今後の課題となっています。	引き続きコーディネート活動に取り組みながら、試験施工箇所における耐久性などの実証試験を継続的にを行い、製品の改良と実用化につなげていきます。
2	<b>神奈川映像情報 ライブラリー事業</b> 実施所属 広報県民課 実施期間 3年間 予算額 22,894千円 決算額 22,198千円	自然、史跡、まちなみなど神奈川の魅力を映像媒体として、インターネットを通じて内外に発信することで、映画・CMなどへの露出度を高めるとともに、観光振興等を図る。	神奈川の風景や名所、文化、歴史などの映像を簡易に見ることができるライブラリーをwebサイト上に構築することで、神奈川の魅力を内外へアピールすることに貢献するなど、目標に見合った成果が得られました。 一方、映画などへの露出度の向上については、現段階では、本事業との関連性が必ずしも明確になっていません。	県の魅力を紹介するだけでなく、過去の貴重な映像をも追加するなど、内容をさらに充実させながら、「映像情報ライブラリー」を今後も継続的に運営していきます。
3	<b>バイオテクノロジー産業 国際化支援事業</b> 実施所属 産業活性化課 (工業振興課) 実施期間 3年間 予算額 17,910千円 決算額 14,958千円	米国メリーランド州などを対象として企業ミッション派遣・受入、知事トップセールスなどをはじめ、県内バイオ関連企業の連携・共同事業のコーディネートなどを行い、県内バイオ産業の振興を図る。	知事による国内外でのミッションを中心に、バイオ関連分野における神奈川のビジネスポテンシャルの認知度を高めることなど、一定の成果を上げることができました。 今後、県内バイオ産業の集積や米国以外のバイオ集積地域への事業展開をどのように進めるかが課題となっています。	「バイオ・ライフサイエンス産業国際化振興事業」の中で、引き続き県内バイオ関連企業の国際化支援や企業誘致を行い、県内のバイオ関連産業の更なる振興を図ります。
4	<b>東アジア地域企業誘致 モデル事業</b> 実施所属 産業活性化課 (工業振興課) 実施期間 3年間 予算額 19,327千円 決算額 12,735千円	東アジア地域の企業を県内に誘致し、産業振興につなげるため、現地企業調査、多言語広報媒体の作成、知事のトップセールス・投資セミナーなどを展開する。	関係機関との緊密な連携のもと、3年間の事業活動を通じて、目標であった中国企業の県内誘致を実現し、県内企業と誘致企業のビジネス機会の増加に寄与しました。 中国以外の東アジア地域への展開が今後の課題となっています。	中国や韓国だけでなく、シンガポール、インドなどアジア全地域の企業誘致を推進する「アジア地域ビジネス・ネットワーク推進事業」として継続的な事業展開を図ります。
5	<b>あしがら塾(カントリービジネス 創造・田園文化発信)事業</b> 実施所属 足柄上地域県政 総合センター 実施期間 3年間 予算額 18,790千円 決算額 17,262千円	足柄上地域の人材やネットワークを活用し、農産品などを生かした名産品づくり、地域資源を生かした景観づくり、野外アート展などを行い、地域力の向上を支援する。	「あしがら田園フォーラム」の開催などの様々な形態の取組みを通じて、地域住民が地域の魅力を再発見するきっかけづくりとして一定の効果がありました。 地域の魅力の再発見に向けた主体的・継続的な場づくりなど、地域への浸透が今後の課題となっています。	地域住民が主体となって地域の魅力を発掘・再認識して、外部へ発信する「ふるさとあしがら発掘事業」として継続的に取り組みます。

No.	事業名、実施所属 ほか	事業概要	取組みの成果	今後の取組み
6	<b>あしがら竹林再生事業</b> 実施所属 足柄上地域県政 総合センター 実施期間 3年間 予算額 19,900千円 決算額 19,496千円	足柄上地域の里山で荒廃が進んでいる竹林の再生に向けて、竹林の整備をモデル事業として実施する。あわせて、竹材などの新たな活用方法の検討や竹林整備ボランティアの育成を行う。	地域の深刻な課題であった荒廃竹林の再生を果たすとともに、関係行政機関や団体と共同で事業展開を行い、地域の実状にあった手法による自主的かつ継続的な地域活性化の取組みを定着させるなど、目標以上の成果を上げることができました。	地域の自立した取組み(南足柄市三竹地区は、三竹里山の竹林を考える会、中井町半分形地区は、町外市民団体と町が取組み主体)に移行し、県としては、側面的な支援に努めていきます。
7	<b>NPO相談ネットワーク 体制強化事業</b> 実施所属 県民活動サポート センター 実施期間 3年間 予算額 6,700千円 決算額 6,430千円	インターネットによるボランティア活動に係る県内統一的な情報提供・相談窓口を開設・運営するとともに、相談人材育成研修をあわせて行うことで、的確で速やかな相談体制を確立し、ボランティア活動を支援する。	ボランティア情報の収集発信や相談を行うサイトを構築し、県内の公設市民活動支援機関の共通ツールとして運用したことで、県民(相談者)への速やかな対応、情報収集・発信の一元化による利便性の向上、人材育成、相談面での各支援機関の連携強化など、ボランティア活動支援のサービス向上を実現しました。	県民や各支援機関からの要望や意見を取り入れ、さらに内容を充実させながら、「NPO・ボランティア情報総合支援事業」として、継続的な事業展開を図ります。
8	<b>肉用繁殖牛導入による 地域農業活性化事業</b> 実施所属 県北地域県政 総合センター 実施期間 2年間 予算額 18,741千円 決算額 16,533千円	肉用繁殖牛を荒廃農地(耕作放棄地)に放牧し、低コストで省力的に飼養管理することで、荒廃農地の解消とそれに伴う有害鳥獣の進入防止を図るとともに、地域の畜産振興につなげる。	荒廃農地(耕作放棄地)の増加やサル・イノシシなどによる獣害という地域の課題に対して、牛の放牧による低コスト、省力的な解決手法として一定の成果を上げるとともに、他地域における獣害・ヤマビル対策に活用されることとなりました。 一方、荒廃農地の改善の効果が耕作再開や畜産の活性化までには十分に波及せず、飼養管理者の後継者難なども課題として残されています。	荒廃農地(耕作放棄地)・獣害対策や畜産振興に向けて、地域の主体的な取組みとして、引き続き放牧を実施することとし、県としては、側面的な支援に努めていきます。
9	<b>鶴見川協働活動保全プログラム事業</b> 実施所属 横浜治水事務所 実施期間 3年間 予算額 24,361千円 決算額 15,579千円	河川保全・環境学習のプログラムを作成し、良好な河川環境のあり方を考える機会を地域や学校に提供するとともに、県民と協働した継続的な河川の活用・保全のしくみづくりを行う。	鶴見川をフィールドとして、県民(NPO・流域企業)と行政の協働で自然植生による河川管理のしくみづくりの端緒を形成するとともに、不法投棄や不法耕作の行為を抑制したほか、流域エリアの学校を対象に河川学習を行い、子どもたちの河川に対する理解を深めることに寄与しました。 今後、地域との一層の連携を図り、地道な取組みとして定着させることが課題となっています。	鶴見川を環境学習の場として活用する学校や団体を支援しながら、県民との協働による河川管理に、今後も継続して取り組んでいきます。

